

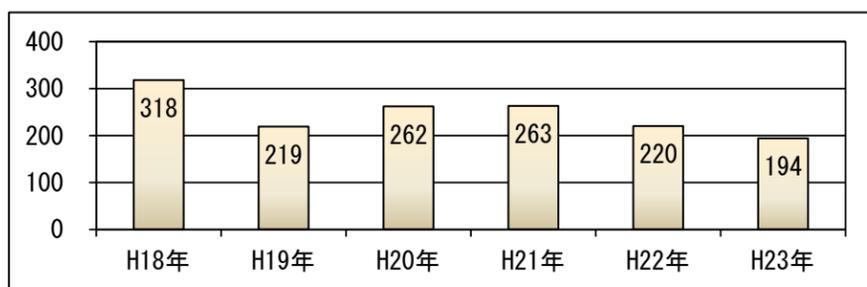
# 子どもに対する声かけ事案の発生状況

高知県安全安心まちづくり推進会議

平成24年2月9日

## 1 子どもに対する声かけ事案の発生状況

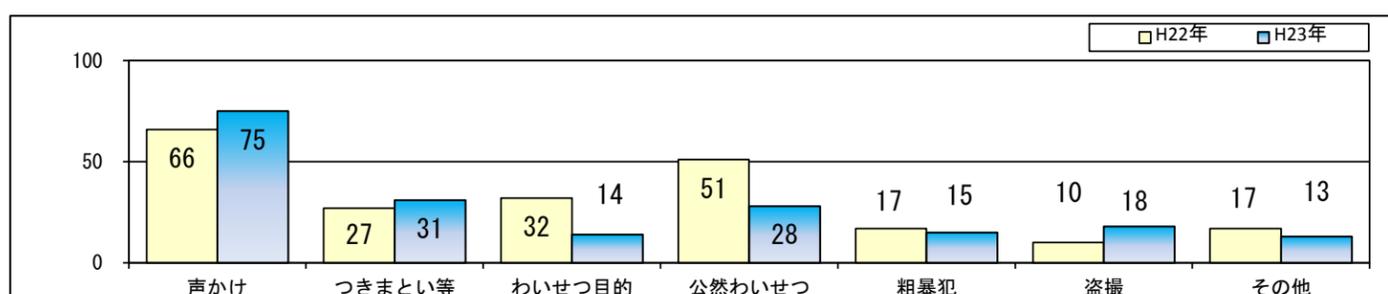
### (1) 発生件数の推移(6年間)



発生件数は、徐々に減少。  
 しかしながら、誘拐や性犯罪の前兆と見られる「声かけ」や「つきまとい」、「わいせつ目的」が全体の約6割を占めており、対象となる子どもの4割が小学生であるなど、子ども達の安全にはまだまだ不安が残ります。よって、これからも登下校時における見守り活動などを進め、子どもの安全を確保する取組を強化していく必要があります。

### (2) 平成23年中の状態別の発生状況

#### ア 手口別の発生状況(前年比較)



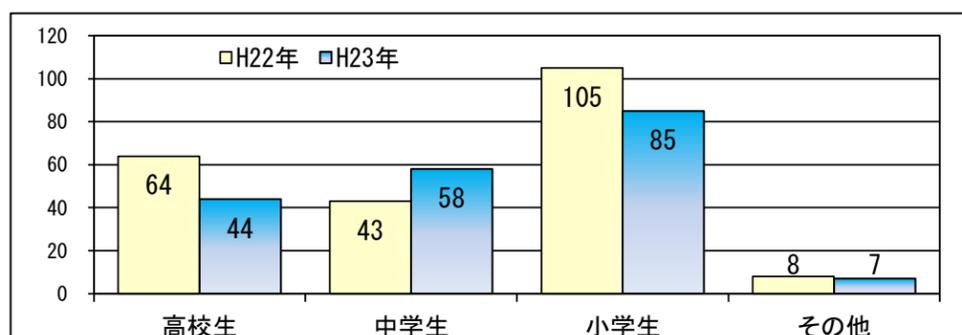
#### 【特徴】

- ①「声かけ」と「つきまとい等」、「盗撮」が増加し、「わいせつ目的」と「公然わいせつ」、「粗暴犯」、「その他」が減少している。
- ②誘拐や性犯罪の前兆とみられる「声かけ」と「つきまとい等」、「わいせつ目的」が総数の61.9%を占めている

#### 【手口の主な例】

- ①「声かけ」では、「飴いらんかね、いっぱい持ちゅうで」や「何もせんき、ちょっと来て」、「写真撮ってあげようか」などと声をかけてきたものがある。
- ②「つきまとい等」では、単純に帰宅中に後ろをつけてきたものや、「家までつんでいちゃおう」などと何回も声をかけながら後ろをつけてきたものなどがある。
- ③「わいせつ目的」では、スカートをまくられた、お尻を触られた、足の臭いをかがれたなどがある。

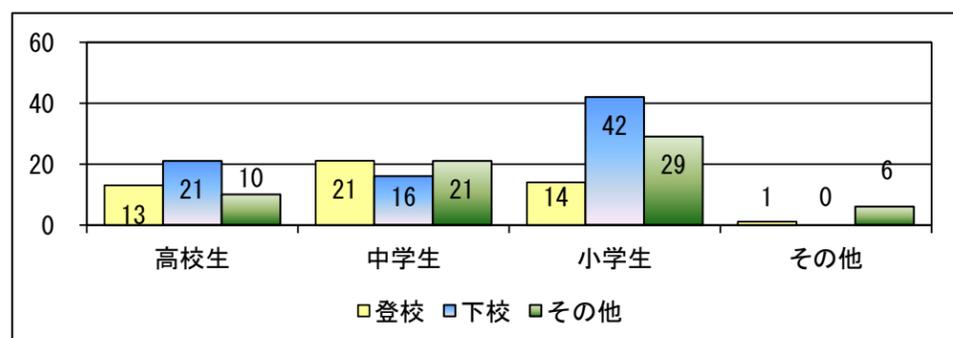
#### イ 態様別の発生状況(前年比較)



#### 【特徴】

- ①態様別では、高校生と小学生、その他が減少し、中学生が前年より15人増加している。
- ②小学生は85人であるが、全体の43.8%

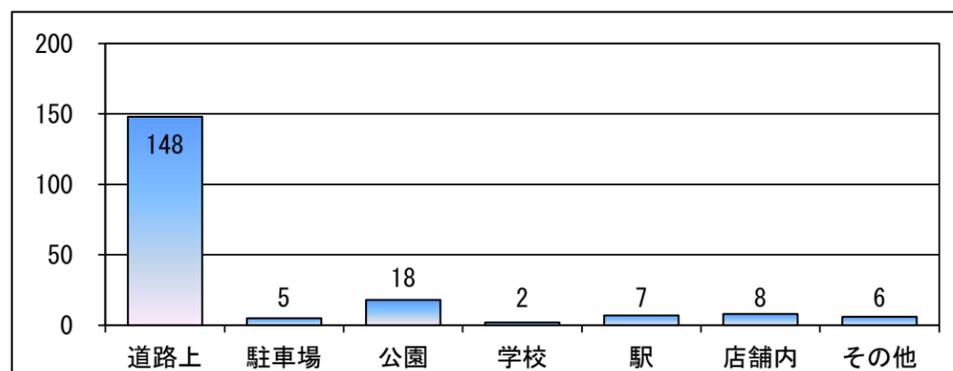
#### ウ 時間帯別の発生状況(平成23年中)



#### 【特徴】

- 全体としては、登下校時の発生が多い
- 小学生…85人のうち56人(65.9%)
- 中学生…58人のうち37人(63.8%)
- 高校生…44人のうち34人(77.3%)

#### エ 場所別の発生状況(平成23年中)



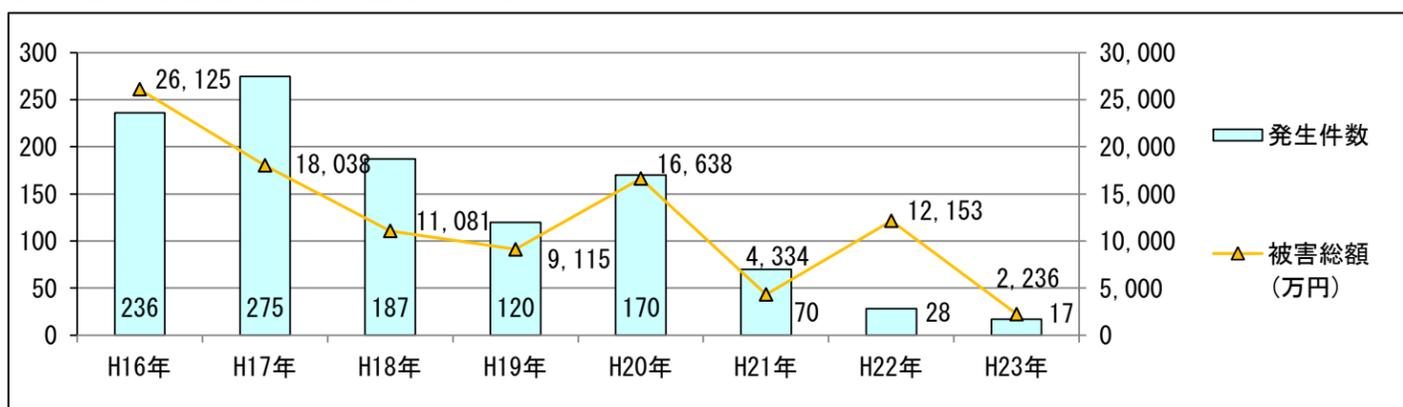
#### 【特徴】

- 道路や駅、公園など公共の場所での発生が多い

# 振り込め詐欺等の発生状況

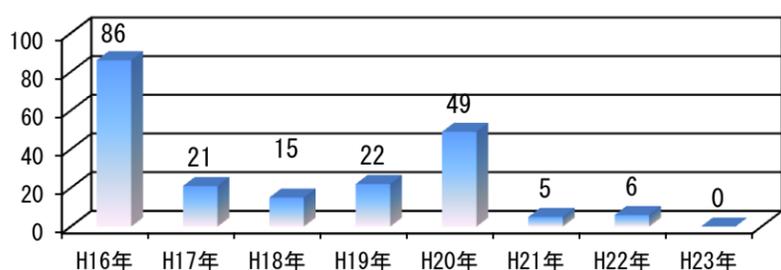
## 1. 振り込め詐欺の発生状況

### (1) 発生件数及び被害総額別の推移(8年間)

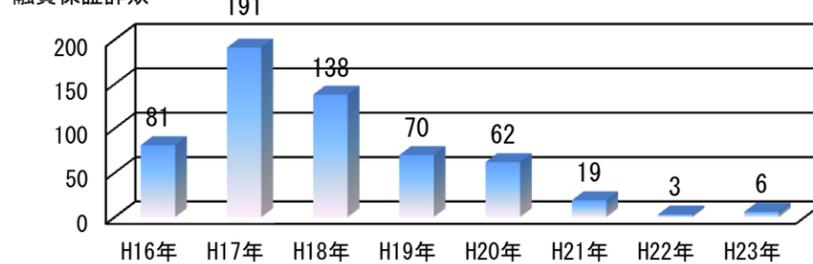


### (2) 手口別の推移(8年間)

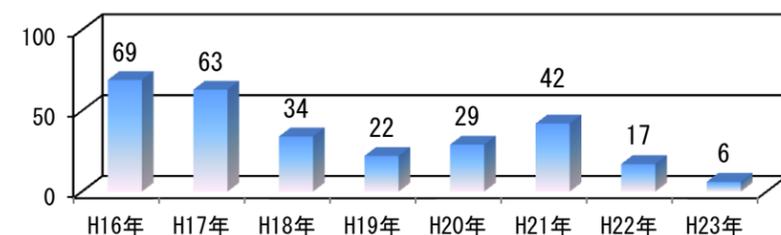
オレオレ詐欺



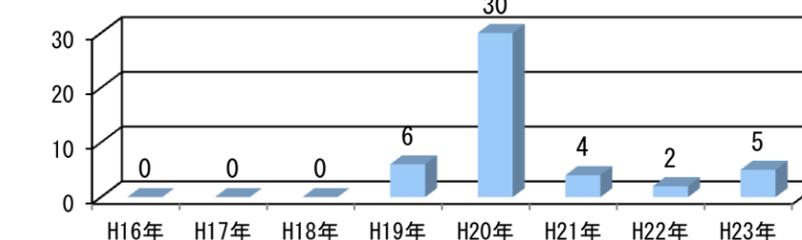
融資保証詐欺



架空請求詐欺



還付金詐欺



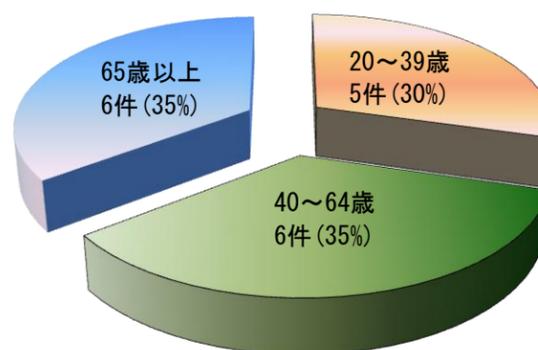
### (3) 平成23年中の発生状況

#### ア 発生件数及び被害総額

	オレオレ	架空請求	融資保証	還付金
発生件数	0	6	6	5
被害総額(万円)	0	1,210	600	426

オレオレ詐欺 前年比-6件  
 融資保証詐欺 前年比+3件  
 架空請求詐欺 前年比-11件  
 還付金詐欺 前年比+3件

#### イ 年齢別の発生状況

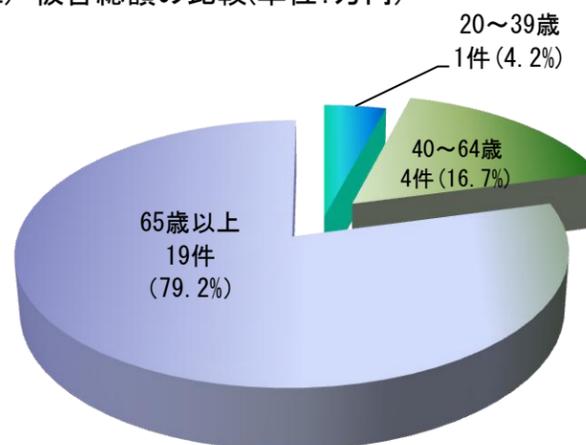


## 2. 振り込め詐欺に類似した手口による詐欺の発生状況

### (1) 発生件数及び被害総額(平成23年中)

	金融商品等	ギャンブル必勝法	交際あっせん
発生件数	22	1	1
被害総額(万円)	18,141	193	7

### (2) 被害総額の比較(単位:万円)



※平成23年中は、振り込め詐欺のように、電話を使って被害者と対面することなく、未公開株、社債等の有価証券、外国通貨等の売買勧誘等を装い、架空名義の預貯金口座に現金を振り込ませてだまし取る事件が多発しています。  
 また、この犯罪は、高齢者の被害が大変多いことから、振り込め詐欺と同様

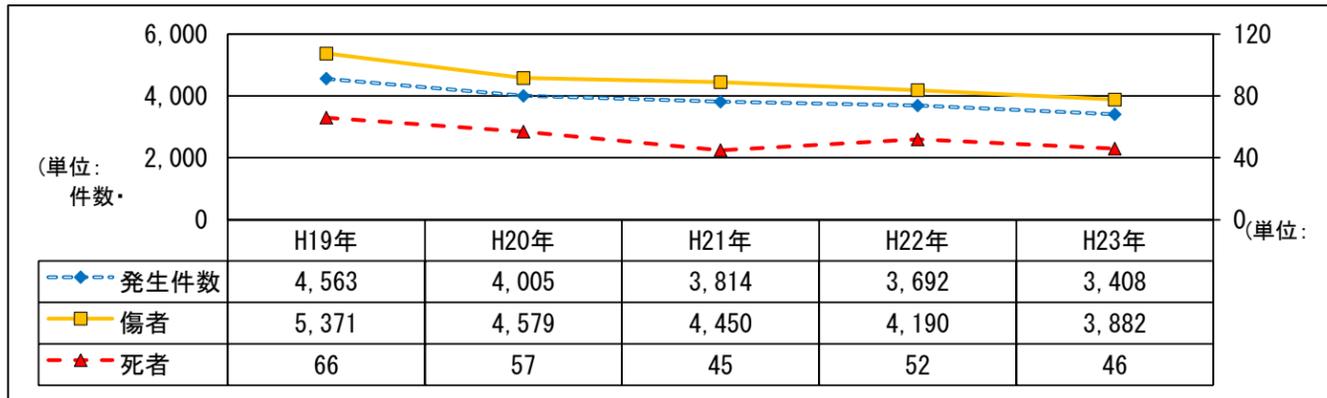
# 高知県内の交通事故概況

高知県安全安心まちづくり推進会議

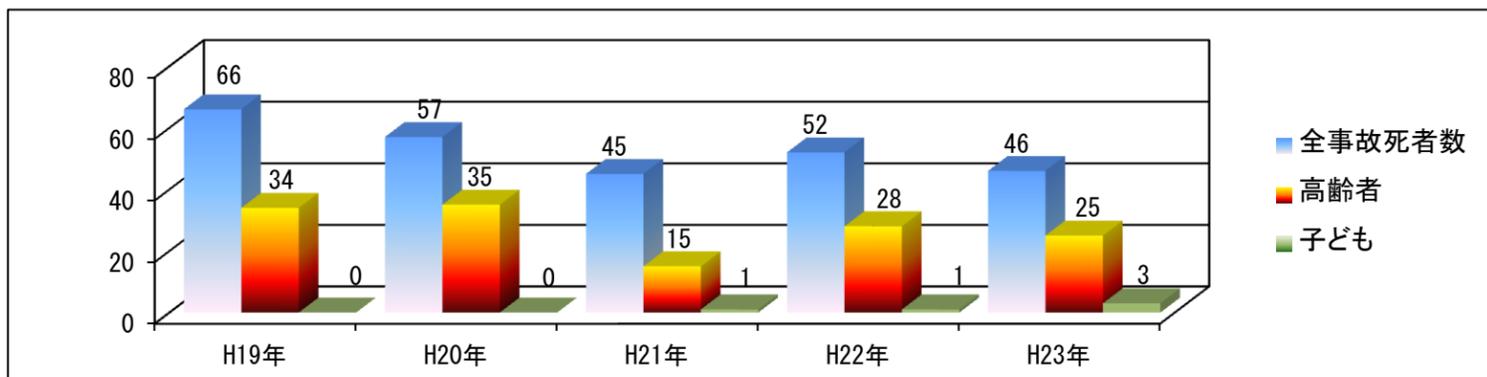
平成24年2月9日

## 1 高知県の交通事故の推移

### (1) 発生件数・傷者・死者の推移(5年間)



### (2) 高齢者及び子どもの死者数の推移(5年間)



## 2 平成23年中の交通事故概要

### (1) 交通事故発生状況

	件数	死者		傷者	
		高齢者	子ども	高齢者	子ども
平成23年	3,408	1,140	208	3,882	766
平成22年	3,692	1,306	217	4,190	843
増減数	-284	-166	-9	-308	-77
増減率	-7.7%	-12.7%	-4.1%	-7.4%	-9.1%

### (2) 交通死亡事故の特徴

- ①前年比で、6人の減少
- ②道路別では、国道での事故が多い  
事故死者46人中…国道で30人、道で7人、市町村道等で7人、高速道で2人
- ③類型別では、「人対車両」の死亡事故が多い  
事故死者46人中…「人対車両」で17人、「車対車」で15人、「四輪単独」で8人、「自転車対車」で3人  
「自二車単独」で1人、「自転車対人」で1人、「自転車単独」で1人

### (3) 高齢者死亡事故の特徴

- ①前年比で、3人の減少(ただし、全死亡事故の割合は、54.3%)
- ②状態別では、歩行中の事故が多い  
事故死者25人中…歩行中が11人(うち道路横断中8人)、自動車運転中が7人(うち車両単独2人)  
自二車運転中が2人(うち車両単独1人)、原付運転中が1人  
自転車運転中が3人(うち道路横断中2人)、四輪同乗中が1人
- ③時間帯別では、「8時～10時」の時間帯が多い  
事故死者25人中…一番多いのが「8～10時」で5人(20%)、次いで「18～20時」で4人(16%)

### (4) 子どもの交通事故の特徴

- ①件数、傷者とも減少するも、事故死者は3人で前年と比べて2人増加
- ②状態別の発生件数では、自転車運転中の事故が多い  
件数208件中…自転車運転中が101件、自動車同乗中が55件、歩行中が50件、自転車同乗中が2件
- ③状態別の事故死者は、自動車同乗中の事故が多い  
事故死者3人中…自動車同乗中2人、歩行中が1人